

第3回総会報告

コ・メディカル形態機能学研究会

2005-03-28

滋賀医科大学で行われた前回に続き、第3回学術集会は独立した学術集会として平成17年3月28日(月)金沢大学保健学科で一日間の時間をかけて開催された。多数の金沢大学保健学科学生の支援により円滑な学術集会が営まれた。学術集会参加登録者は74名を数え、発表・討論ともに増加し、年々盛会になってきた。

総会開催時には出席者は委任状を含めて50名に減少し、総会の成立要件である会員の30%(186名中56名)に達しなかった。実質的な会員集会として、以下の議題が審議・承認された。

日時:平成17年3月28日 17:10~17:50

場所:金沢大学保健学科1号棟2階1220講義室

議題

1. 平成16年度事業報告ならびに会計報告
2. 新役員選挙結果報告および新役員承認
3. 平成17年度事業計画ならびに予算案の承認
4. 第4回学術集会について
5. その他

(報告者 磯村源蔵)

<議題1> 平成16年度事業報告ならびに会計報告

1)会員の現状

会員数 186名(平成17年3月23日現在)

内訳 新規加入会員 30名

退会会員 2名

退会会員のうち1名は高知医療学院長の高島庸一郎先生(73歳)で、平成16年12月17日心不全のため逝去されました。本研究会推進に積極的に取り組み、物心両面で援助いただいたことを感謝し、謹んで先生のご冥福をお祈りいたしま

す。

2) 機関誌「形態・機能」の発刊

第3巻1号(平成16年10月)および2号(平成17年3月)を発刊した。

1号内容:原著論文2題、短報1題、寄書1題、その他報告等 合計40頁

2号内容:原著論文2題、学術集会抄録、その他報告等 合計44頁

3) 第3回学術集会の開催

日時:平成17年3月28日(月)

場所:金沢大学医学部保健学科1号館1220講義室

世話人:中谷壽男先生(金沢大学)、平野茂樹先生(新潟大学)

28演題の発表があり、1回(特別講演1題、13演題、参加者47名)、2回(22演題、参加者70名)と年々盛会になった。

4) 他組織との交流および広報活動

第16回国際解剖学会に参加した(下記5)。篤志解剖全国連合会第30回団体部会大学部会合同研修会役員会へ出席した(下記7)。

ホームページを立ち上げ、会員に対する迅速な広報活動を開始した。

<http://square.umin.ac.jp/co-medsf/index.html>

担当者:小林邦彦、コーディネーター:隅田 寛

5) シンポジウムの主催

第16回国際解剖学会(平成16年8月22日~8月27日:京都国際会議場)に参加し、2つのシンポジウムを主催した。

○ コ・メディカルの解剖学実習の充実に向けて(世話人:野村 巖)

抄録を「形態・機能」3巻1号に掲載した。

○ Significance of anatomy in the co-medical education(オーガナイザー:磯村源蔵)

抄録を「形態・機能」3巻2号に掲載した。

6) 役員改選選挙の実施

会則に従い役員改選選挙について「形態・機能」3巻1号で公示し、役員改選選挙を行い(投票期間:平成16年10月31日締切)、開票した(平成16年11月8日)。

選挙管理委員 唐沢延幸(星城大学)、河上敬介(名古屋大学)

結果： 投票数 56 票、有効投票数 55 票、無効 1 票(平成 16 年 9 月 30 日現在： 会員数 160 名)

以下の 8 名が選出され、8 名全員役員就任の同意を得た。

磯村源蔵(検査)40 票、小林邦彦(リハビリ)38 票、今本喜久子(看護)35 票、渡辺 皓(看護)30 票、島田達生(看護)30 票、絹谷政江(看護)28 票、隅田 寛(放)25 票、野村 巖(リハビリ)20 票
次点川真田聖一(リハビリ)13 票

7) 人体解剖実習条件の改善取り組み

篤志解剖全国連合会 第 30 回団体部会大学部会合同研修会役員会へ出席した。

日時：平成 16 年 11 月 26 日(金)12:00～13:00

場所：聖マリアンナ医科大学会議室

内容：小林邦彦、肥田岳彦、磯村源蔵の 3 名が出かけ、文部科学省ならびに厚生労働省に対するコ・メディカル形態機能学研究会の解剖条件改正の働きかけにたいして応援・援助要請をお願いした。今までも応援をしてくれており、感謝の念が薄いと逆に注意された。

8) 第 4 回役員会

日時：平成 17 年 3 月 27 日(月)19:00～21:00

場所：全日空ホテル会議室

議題：

1. 総会議案の作成・検討

- 1) 平成 16 年度事業報告ならびに会計報告
- 2) 新役員選挙結果報告および新役員承認
- 3) 平成 17 年度事業計画ならびに予算案の承認
- 4) 第 4 回学術集会について

以上の議題を審議・承認し、総会に提出することとした。

2. 会長・副会長の選出および役員の役割分担

互選により以下のように役員分担を決めた。

会長：磯村源蔵、副会長：島田達生、幹事：渡辺 皓、会計：今本喜久子
編集長：小林邦彦、副編集長：野村 巖、編集委員：絹谷政江、隅田 寛
監事：川真田聖一、後藤保正

副編集長の制度を新たに設けた。

3. 当研究会の運営に関する検討

学術集会における学生参加について検討し、学生会員の取扱に関し総会に提案することにした。

9) 会計報告(別紙)

2004 年度会計報告・会計監査報告

[PDF ファイル](#)

<議題2> 新役員選挙結果報告および新役員承認

上記議題1-6)のように役員選挙を行い、選出された新役員を承認した。

<議題3> 平成 17 年度 事業予定および予算案

1) 役員分担の決定

役員会の互選により以下のように役員分担を決めた。任期は平成 17 年 4 月 1 日から 3 年間で、平成 20 年 3 月までとする。

会長:磯村源蔵、副会長:島田達生、幹事:渡邊 皓、会計:今本喜久子
編集長:小林邦彦、副編集長:野村 巖、編集委員:絹谷政江、隅田 寛
監事:川真田聖一、後藤保正
副編集長の制度を新たに設けた。

2) 機関紙「形態・機能」発刊予定

4 巻 1 号(平成 17 年 9 月末日)、および 2 号(平成 18 年 3 月上旬)を発刊する。
なお、機関紙上に人事消息(大学教員求人情報、転勤、訃報など)を掲載する。
座長推薦を活用し、機関紙の活性化を図る。

3) 第 4 回学術集会の予定

日時:平成 18 年 3 月 28 日(火)
場所:北里大学

世話人:千田耕輔先生、田口明子先生(北里大学)、後藤保正先生(首都大学東京)

4) 役員選挙方法の検討

副会長を中心として、現在の選挙規定を見直し、次回には投票率を高め、会員の多数の意見が反映される選挙に改正する。

5) 顧問制度の活用

若干名(10名前後)を役員会で推薦する。編集委員4名と他の役員4名で査読・編集業務を行っているが、若干名の査読者を増やし、それぞれの分野をカバーできる体制にする。特に生理学や生化学、リハビリや看護の分野を充実する。同時に当研究会の地方ごとの活性化を進め、現役員体制を積極的に助言・補佐することを目的とする。

6) 予算案(別紙)

2005年度予算案

[PDF ファイル](#)

<議題4> 第4回学術集会について

以下の予定を承認し、世話人から受諾する旨挨拶があった。

日時:平成18年3月28日(火)

場所:北里大学

世話人:千田耕輔先生、田口明子先生(北里大学)、後藤保正先生(首都大学東京)

<議題5> その他

○ 学生(大学院生を含む)の学術発表は会員と連名であれば発表でき、会員登録を求めない。但し、機関紙「形態・機能」を入手したい場合は会員登録し、年会費3,000円を納める。

○ 会費が毎年スムーズに集まらないので、会員の注意を喚起して年度の早い時期に完納してもらえるよう工夫する。機関誌「形態・機能」1号には2年以上の

未納者情報を差し込み、注意を促し、2号には必ず次年度用振込用紙を挟みこむ。

会員より以下2点の提案があり、役員会で調査・検討し、次回総会に報告することにした。

○ 当研究会の学会昇格に関して

当研究会は学会ではないので大学側から出張旅費が認定されなく、しかも発表も業績として認定されない。学会への昇格を検討し、同時に名称も検討してはどうか。

○ 開催時期の検討

学会として独立した場合には学術集会の時期を3月末にこだわる必要はない。もっと学生達が発表しやすい時期に変更しても良いのではないか。

以上
